

# 令和4年度（令和5年度入学） 学校説明会

**校訓 「不惜精進」**

## **教育目標**

**自主** 自分で考え、判断し、行動できる人  
**勤勉** 何事にもまじめで、一生懸命取り組む人  
**共生** 互いを認め、助け合って生きることのできる人

**《One Step Forward》**

先ほどの、生徒会役員による学校紹介で、生徒の目から見た学校の様子がうかがえたと思います。

次に、現在の練馬中学校の様子をお伝えします。

現3年生は、コロナ禍での入学となり、6月に入学したあと、今までの学校生活の中で行われてきた行事を体験することなく2年半が過ぎました。行事自体が中止となったり、部活動もかなり制限された中で活動することとなりました。現在の在校生の中に、かつて練馬中学校で行われていたすべての学校行事を経験した生徒はいません。

# 練馬中学校のPRポイント！！

## 生徒主体にした行事の実施

### ●運動会・合唱コンクール

実行委員を中心に、生徒主体  
で企画・運営。

スローガンの作成 モチベーション動画の作成

PR事業の展開 競技の審判 練習計画と実施

そこで、練馬中学校では以前から生徒による行事の企画・運営を行ってきま  
ましたが、それをさらに発展させていくことで生徒の満足のいく行事の運営を  
行って行こうと考えました。

具体的には、実行委員会を組織し、スローガンの作成や練習計画を練るなど  
行っています。

今年度は、3年生を中心として、配布されているタブレットPC を活用して  
モチベーション動画の作成や、運動会に向けてのPR活動、競技における得点  
の集計方法をタブレットPCを使って行うなど、コロナ禍だからこそ活用でき  
るICT機器を行事に生かしてきました。

## 運動会では・・・



実行委員を中心にクラスの話し合いを進め、  
選手決めやクラスの方針を決めていきます。

まずは生徒の中から実行委員を選び、クラスでの運動会に向けての方針を練ります。

# 運動会では・・・



話し合いをもとに、選手決めやクラスの意向を伝え実行委員会で話し合い活動を重ねていき、具体的にどのように取り組んでいくか方向性を決定していきます。

# 運動会では・・・



これは、今年度の運動会のスローガンです。  
一番を意味する優勝ではなく、勝ち負けにこだわらない、運動の苦手な子も  
仲間と一緒に笑って取り組める、「友笑」というスローガンを作成しました。

## 実行委員が企画立案して行事に臨む



3年生は、自らデザインしたTシャツを着用

また、3年生はこのスローガンのイメージをデザインが得意な生徒に伝えTシャツをデザインしました。  
運動会本番では、全員がこのTシャツを着て競技に臨みました。  
また、実行委員が中心となって、運動会を盛り上げようと、モチベーション動画も作成しました。



感染症対策として・・・  
様々な行事が中止・縮小されていく  
部活動の制限・大会の中止や練習時間の制限



## 生徒の行事に対する達成感をどこに見い出していくか

できないものを追い求めるよりも、新しい観点で生徒の達成化や満足感を見出していくことに主眼にもち、教師から生徒に提案し行事を企画立案していく。

できないものを残念がったり、過去を振り返るよりも、何ができるか、どんなことができるかを見つけて生徒に投げかけ、そこから生まれてくるアイデアをくみ取り現実化させていくことで、生徒の行事に対する達成感を高いものにすることができました。

## 生徒の変容

- ・ 苦勞して作成したもので、多くの人に喜ばれる
- ・ 誰かのために力を注ぐことの大切さを実体験をもって学べた。
- ・ 自分の熱い思いが、周りの仲間の気持ちを熱くさせてくれる  
→個人としても集団としても大きな成長へ

実行委員は、自分の努力が多くの人に喜ばれる感動を味わい自分の熱い思いが周りの仲間たちの心を動かすことができるというとても貴重な体験をすることができました。こういった活動は、間違いなく子供たちの大きな成長へとつながったと思います。



# これからの練馬中学校

変化の激しい現代社会



様々な教育課題が出てくる



生徒を中心に置いた教育活動を目指し研鑽を積んでいく



社会で活躍できる生徒の育成を目指し、生徒とともにより成長していくことができる学校へ！

変化の激しい現代社会では、様々な課題が見えてきます。その中で正しい情報を選択し、教育活動を進める際にはいつも「生徒」が中心になっている活動となれているか、考えていくことが大切だと感じています。

中学校は、生徒が成長していく場でもあり、教師が成長していく場でもあります。ともに学び、ともに成長していくことができるよう、教員一同で常に研鑽していきたいと思っています。